～いわき遠野歳時記～

満月祭をとおしての地域振興と復興支援へのボランティアについて

福島県立遠野高等学校生徒会

1. **課題**
2. 遠野地区の特長

自然がゆたか、歴史文化がゆたか

1. 課題
* 過疎化と高齢化
* 耕作放棄地

**→『地域の活性化のために力になりたい』**

**『これまでより積極的に地域振興と震災からの復興に参加したい！』**

1. **私たちの取り組み**
2. ［満月祭］でのボランティア活動
* 満月祭の歴史→平成１７年
* 満月祭とは→十五夜に行われるお月見泥棒という古くからの伝統行事がモチーフ
* きっかけ→祭りを通して遠野を盛り上げたい、知ってもらいたい
* どうして遠野高校を会場に行っているのか？→震災前は入遠野地区（遠野高校よりさらに山間に10km）の沿道。しかし、震災によって道路が隆起し、開催ができなくなり、遠野高校へ。
	+ 第9回（平成25年9月14日(土)）107名／全校生徒164名
	+ 第10回（平成26年10月11日(土)）全校生徒で参加へ！
* ボランティアの内容→灯籠ならべ、
* 成果→来場された方や地域の方々の感動した表情を拝見し、充実感を味わう。また、ボランティアとして唯一福島県PTA連合から表彰をいただく。
1. 遠野和紙を使った工芸品づくり
* 遠野和紙の特徴

地元遠野町でとれる楮、寒漉、歴史

→遠野独自の工芸品として加工・販売を企画

* うさぎ面のデザイン

運気上昇→のびうさぎ、商売繁盛→まねきうさぎ、学業祈願→ちえうさぎ

人気上昇→はなうさぎ、恋愛成就→こいうさぎ　　　　　　　　　　　　　（5種類）

* 製作方法
1. 型に和紙を貼り、乾燥×5層
2. 穴を開け、化粧ひもを通す。
3. 色づけ
4. 新たな特産品づくり
* 満月祭に合わせて企画・作成
* 第9回　イタリアントマト餃子
* 第10回　キクイモを使ったお菓子作り（マドレーヌ、五の味団子）
1. **まとめ**
2. 今後の課題
* 10月に新たな売電契約を結ばないことを東北電力を含む電力5社が決定！耕作放棄地を楮畑に！
* 産業廃棄物であるトマトの茎や葉で和紙づくり！
1. まとめ

はじめは、様々なことと両立しなければいけないことに苦労しました。そして、生徒会内や生徒間で意見がまとまらないこともありました。しかし、夏休みに行われたリーダー研修会などを通して各クラスのHR長と話し合ったりすることでお互いの溝を埋め、気持ちを一つにしていくことができました。

さらに、9月28日(日)のふくしま社会活動コンテストでの優秀賞の受賞をうけ、今年はラジオ出演することもでき、より多くの人たちに満月祭の宣伝をすることができたため、例年より多くの人たちに足を運んでいただくことができたと思います。満月祭をとおしての「地域振興と復興支援へのボランティア」をへて、地域の人たちの遠野に対する熱い想い、人と触れ合う素晴らしさを知ることができました。

また、他校の発表を拝聴して、最優秀賞を取った会津農林高校の早乙女踊りのように“生徒から生徒へ”と、作成方法やその所以を伝統的に受け継ぎ、うさぎ面をさらに発展させていきたいです。

**透き通った和紙のむこうに輝く遠野の未来が見える！**